

# ペットライフ

mail:bunka1@ma.kitanippon.co.jp

## 獣医のカルテ



62



ハニーアニマル  
クリニック院長  
(富山市)  
西尾 洋介

予防医学の進歩やペットフードの改良、飼い主さまの意識の向上など、動物たちの生活環境がとても良くなり、ペットの高齢化が進んでいます。最近では15歳を超えてる犬や猫もよく診るようになりました。元気な子もたくさんいますが、やはり加齢に伴い、さまざまな疾患が増えてきます。目や耳が遠くなったり、足腰が弱くなったことだけがをしたり、心臓病や腎臓病、悪性腫瘍、認知症なども見られます。

### 加齢に伴う疾患

超音波検査で見つかった腹部の腫瘍



## 「何となく」の変化に気付く

うになった、体重が減ったなど、年を取ったからかな?と思うようなことが、もしかしたら体調不良を訴える重要なサインかもしれない。

先日、「食欲や元気はあるけど、最近咳をするようになった」という主訴で10歳を過ぎた犬が来院されました。

しかし、数カ月前に予防注射で診断治療していくことは非常に難しく、苦慮することも少なくありません。正直、体重の減少がなければ見落としていたかもしれない。

来院された時と比較し、体重が少し減っていることが気にかかり、何か他にも病気があるのでは?と思い腹部の検査を行いました。すると、臓器の一部が大きく腫れていました。破裂して出血する危険性もあるため、飼い主さまと相談の上、開腹手術を行うことになりました。咳という症状からは思いもよらない展開かと思いません。

このように、動物たちは体の不調をなるべく見せないようにけなげに頑張っています。今回は飼い主さまが「何となく」の変化に気付き、病院に連れて来てくれたことが一番のファインプレーだったと思います。